

第4回 世田谷リング会議での主な意見

建物全体の配置、形状について

- 10階建てを8階にすることにより、新たなコアが必要になることなどを考えると、10階建てとなることも、仕方ないのではないか。
- 10階建てよりも8階建てにする案の方が良いと思う。コアが増えるということは避難動線が増えることでもある。また、横の動きが増え、職員の共用ワークスペースを利用してコミュニケーションすることにもつながる。仮庁舎の経費が増えることもやむを得ないと考える。
- 8階建てよりも、仮庁舎のコストが抑えられる10階建ての方が良い。
- 工事の手順を考慮すると10階は必要なのではないか。
- 8階建てよりも10階建ての形状の方がスマートにおさまっている。
- 8階建てにすると外観に特徴がなくなってしまうため、10階建てに賛成である。
- 既存の区民会館と10階建ての近代的な建築が隣り合うことで、古いものと新しいものが共存していると感じられることが、良いと思う。
- 10階よりも低い建物の方が良いと思っていたが、会議室の数など様々な検討をした結果として10階建てとなっていることを踏まえると、このままで良いと考えられる。
- 10階建てに違和感はない。議会エリアが分かれていることもわかりやすい。
- 建物の規模が約7万㎡と基本構想よりも増加しているが、この規模が条件なのであれば、10階建てはやむを得ない。
- 議会機能、行政機能、区民利用スペースの各々があるかたちを持って外から見え、上手く融合していることが大事である。その意味では、10階建てとすることで、議会がある程度突出していることは、分かりやすく良い。
- 建物の一部分を10階建てにすることにより、リズム感が生まれ、良いと感じる。
- 10階建てにするのであれば、ビックサイトのような格好良い建物にしてほしい。
- 東1期棟上層部の外壁のデザインは良いとは言えない。世田谷区らしいデザインとなるよう外壁の工夫をしてほしい。
- 東1期棟上層部のルーバー形状については、更なる検討が必要である。
- 10階部分はシンボリックなものにしてほしい。
- 現状案はオフィスビルのようなデザインなので、松陰神社や豪徳寺などの世田谷区の歴史的な建物と調和したデザインを検討してはどうか。
- 建物の一部分を10階建てにすることで、建物の重心に片寄りが生じることから、免震の設計の際に考慮する必要がある。

- 10階建ての是非については、ローリング計画を度外視して考えることはできない。
- 10階建てとすることで、ビル風が発生するのではないか。その影響は検討しているのか。

会議室について

- 会議室については、室の仕様に関わるので、どのような用途で使うことができるのか明確にして設計する必要がある。
- 会議室は、区の職員にとって使いやすいことが大事である。
- 市民に開かれ、ユニバーサルデザインに則した会議室にしてほしい。
- 会議室はユニバーサルデザインとし、車いすの人の出入りや動線に配慮してほしい。
- 無駄の無いように、できる限り共用可能な会議室としていることは良い。

リングテラスについて

- リングテラスの幅については、もう少し広い方が良いと感じるが、広場から見たときの圧迫感や日当たりの問題もあるので、バランスを考慮した幅を検討してほしい。
- 東棟に面しているリングテラスは適正な幅なのか。広過ぎることがないように精査してほしい。
- 区民会館前のテラスの幅が狭いので、区民会館前のテラスは広げるかあるいは無くしても良いのではないか。
- 区民会館前のテラスは、人がすれ違うことができる幅があれば良いのではないか。
- リングテラスの手すりは利用者へ配慮し、全面ガラスではなく、下部は目隠しをするなどの工夫が必要である。
- 区民会館前のテラスの手すりは、既存の手すりがあることから全面ガラスが良いのではないか。
- 区民会館前のテラスの既存手すりを活用するのであれば、リングテラス全体とのバランスを検討する必要がある。
- 区民会館前のテラスの床の高さは、既存の高さが良かった。今回の案では、テラスを下から見た際、手すりのすき間から床が見えるのではないかという点が気がりである。
- 1階の階高が5.3mよりも低くならないのであれば、区民会館前のテラスの床レベルをリングテラスのレベルと合わせた今回の案が、一番妥当ではないか。
- リングテラスは、職員にとって動きやすいことが大事である。
- リングテラスは特徴的なデザインにしてほしい。
- リングテラスの柱を無くすことはできないか。災害時に広場に停車できる車両台数が減るのではないか。

- リングテラスは無理に造らなくても良い。「人をつなぐリング」の表現は、2階のリングテラスに限らず、地上レベルでの別の表現方法もあるのではないかな。

スロープについて

- スロープは無いよりは有った方が良い。
- スロープは避難上も有効だが、高齢者や障害者にとって、ゆとりやあそびの空間にもなる。
- 今回提案された高さ5.3m、長さ100mを越すスロープは、日常的に利用されるのか。車いすの人はエレベーターを利用するのではないかな。
- 災害時に避難階への移動が必要なのは2階だけではない。車いすの人の避難はエレベーターがメインとなるはずであり、2階だけに避難階を結ぶスロープを設置することは過剰なのではないかな。スロープは必要ないのではないかな。
- スロープ案はほとんど前例がないものであり、チャレンジに期待する。
- スロープと階段の案を見て、非常に良いと感じる。
- 西側のスロープは、踊り場が狭いため、階段の利用者と車いすやベビーカーが衝突するおそれがあり、踊り場にもっと余裕をとらないと危険である。
- 西側の階段とスロープは、下の方が狭いので、建物をセットバックして、階段とスロープ部分を拡げてはどうか。
- 西側のスロープは、リング会議の成果となる、面白いものができるのではないかな。
- リングテラスに囲まれるように設置される広場のスロープは、幾層にも重なっていて楽しく歩けるような工夫がされており、素敵なデザインであると感じる。
- 階高5.3mを上がる広場のスロープは、広場から見たときに圧迫感が生じるため、良いデザインであると感じるような努力が必要である。
- 広場のスロープは面白い使い方ができるのではないかな。
- 広場の階段とスロープはイベントでの活用が期待できる。
- 広場のスロープを設置することにより、東2期棟1階の区民交流スペースの見透しや開放感が減るため、更なる検討が必要である。
- 広場のスロープは、視界を遮り、壁のような重い景観になっているので、広場とのデザインの整合性について検討が必要である。
- 広場のスロープを設置した場合、東棟側が暗くなってしまう。
- 2階にはレストランや区民交流室があるため、1階と2階をつなぐ広場の階段やスロープは必要であるが、踊り場や階段部分についてさらに精査が必要である。
- 免震構造の建物は揺れが大きくなることがあるため、非常用エレベーターについては、地震後も確実に作動するシステムを導入してほしい。
- 避難経路としてすべり台を設置してはどうか。

- 区民会館ホワイエの階段にもスロープを設置できないか。
- 区民会館ホワイエの階段の横に、見通しの良いスケルトンのエレベーターを設置し、昇降の過程においても景色が感じられるようにできないか。

外構計画について

- 小鳥が来るような実のなる木を植えたり、ツバメが巣をつくれるような場所を整備してほしい。
- サクラの木を植えてほしい。
- 水辺がもう少しあっても良いのではないか。
- 広場に噴水を設けないのか。
- 水辺について、屋上緑化にビオトープを設置したり、下の階へ落ちる滝をつくってはどうか。

その他

- 委員の意見を受けて、基本設計でハード面を変更することは可能なのか。空間特質を継承するために、世田谷総合支所を外へ移転し、建物をスリム化するといった大胆な変更が今からでもできないのか。
- 区民会館ホールの扉は、二重扉にする必要はないのか。広場側の壁は1枚だが、遮音性能上、問題はないのか。
- より周到的な準備をして臨まないと、工事期間中にトラブルが生じるおそれがあることから、ローリング計画については実施設計段階でさらに検討する必要がある。
- 工事期間中、既存第2庁舎の議会部分を行政の執務室として活用できないか。
- 議員の控室については、会派の人数が変わった場合にも対応できるような設えにしてほしいとの要望があるが、設備面の対応は難しいと思うので、無理に設える必要は無いのではないか。
- 議場には、議会中の議員の様子が分かるようなカメラなどの設備を導入してほしい。